



松ぼっくり



築地小HP

学校HP <https://tainai-tsuiji-es.edumap.jp/> e-mail tsuiji-es@tainai.ed.jp

学び合い 認め合い 鍛え合う子

令和6年4月26日 発行

マイノリティ（少数派）をも尊重する社会

校長 田村 稔

昨年度、大リーグの大谷翔平選手から日本国内の小学校2万校に野球のグローブが寄贈されました。もちろん、当校にも寄贈していただきました。ありがたいことです。子どもたちのみならず、大人も興味津々で実際にはめてみられた方も多かったようです。

さて、各校に寄贈されたグローブは3つずつで、それぞれ右利き用2つ、左利き用は1つです。ちなみに、日本国内の利き手の割合は（各統計によってばらつきはあるものの）概ね右利き9割、左利きまたは両利きが1割だそうです。圧倒的に左利きまたは両利きが少ないのです。しかし、今回大谷選手から贈られたグローブは左利き用が3割3分にも上っています。それはなぜでしょうか。



野球では打撃の際、左利きの方が有利だと言われます。左利きでバットを振り切った時には、すでに一塁方向に一步踏み出すことができているからと聞いたことがあります。だから普段は右利きだけど打撃だけは左利きにするプレイヤーは少なくありません。それにしても、小学校に寄贈する3割以上を左利き用グローブにするなんて、少し多すぎるのではと思いました。ましてグローブを使う守備において、左利きが有利なのはピッチャーと一塁手くらいなのだそうです。右利き中心の社会であれば、3つすべてを右利き用にして、左利きの方は我慢なさい、親に買ってもらいなさいという考え方になる場合が少なくないと思うのです。なぜ左利き用を3割以上にしたらろうと思っただけのもの、実際に大谷選手に訊いてみたことはありませんし、インターネットで調べてみてもこの意図は分かりませんでした。

ところで、グローブに添えられていた大谷選手からのメッセージは「野球しようぜ！」でした。野球は一人ではできませんから、多分「みんなで野球しようぜ」と言いたかったのではないかと推察します。1割の人をマイノリティだからと無視することなく、マジョリティの人が多少不便を感じたとしても、「みんなで」やることを重視したのではないかと思えるのです。それがマイノリティをも尊重する社会というものなのではないかと思えるのです。

今、築地小学校の職員は名札に虹色のストラップを付けています。レインボーカラーにはLGBTQ+といった性的マイノリティの人権を尊重しますという意味があります。いち早く私がこの虹色ストラップを付けていたところ、何人かの子どもたちから理由を訊かれました。そんな時、私は次のように答えています。「このレインボーカラーはきれいでしょ。これはね、皆さんたち全員を大切にしますよっていう意思表示なのです。困ったことがあったら何でも相談してね」。

21世紀は人権の世紀と言われ、早四半世紀。しかし、女性差別、部落差別、外国人差別、年齢差別、職業差別など、世の中の差別は未だに残されたままです。すべての人が大切にされる社会実現のために、教育現場においては多様な人々とかかわりながら、みんなで協働して学ぶ場を今後も設定していきます。ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

学校ブログ 日々更新中！築地小ホームページをご覧ください！<https://tainai-tsuiji-es.edumap.jp>

こちらのQRコードから→





築地小・中 コミュニティ・スクールだより

第1回コミュニティ・スクール委員会

4月22日（月）に、築地小学校にて、築地小・中 第1回コミュニティ・スクール委員会を行いました。

築地は小学校・中学校合同によるコミュニティ・スクールという点が大きな特長です。小学校・中学校9年間を通して目指す子ども像を、「ふるさとを愛し、仲間と協力して、たくましく自分の道を切り拓いていく子ども」とし、下表の力を育むことをねらいとして活動を進めていきます。

【あ い】 郷土愛	ふるさとを知って誇りをもち、貢献することができる
【ひ と】 人間関係形成・社会形成能力	互いに尊重し、よさを認め、高め合うことができる
【じぶん】 課題対応能力	課題に対し進んで行動を起こすことができる
【いきる】 自己理解・自己管理能力	自分をみつめ、自分らしく輝くことができる
【みらい】 キャリアプランニング能力	自分と地域の夢をもち、未来を切り拓くことができる

この日の全体会では、令和6年度の活動予定、予算などについて協議しました。今年度も、6月・9月のあいさつ運動、6月の合同クリーン作戦、10月のいじめ見逃しゼロスクール集会の重点活動など、委員の皆様の見解を生かしながら、築地のよさを生かした小中合同の活動を充実させていきます。

後半は、小学校、中学校の部会に分かれ、学校経営方針、グランドデザイン、学校評価をもとに協議しました。小学校部会では「築地小の子はあいさつをちゃんと返してくれるからうれしい」「自分から先にあいさつができることさらによい」等々、委員の方々からいろいろのご意見をいただきました。





令和6年度 築地小学校グランドデザイン

【教育目標】 学び合い 認め合い 鍛え合う子

【目指す子どもの姿】

「ふるさとを愛し、仲間と協力して、たくましく自分の道を切り拓いていく子ども」

- 【あい】 ふるさとを知って誇りをもち、貢献することができる (郷土愛)
- 【ひと】 互いに尊重し、よさを認め、高め合うことができる (人間関係形成・社会形成能力)
- 【じぶん】 自分をみつめ、自分らしく輝くことができる (自己理解・自己管理能力)
- 【いきる】 課題に対し進んで行動を起こすことができる (課題対応能力)
- 【みらい】 自分と地域の夢をもち、未来を切り拓くことができる (キャリアプランニング能力)

【目指す学校の姿】

- 子どもにとって「学びがいのある築地小学校、自分の成長を実感できる築地小学校」
- 教職員にとって「互いが協力し合い、やりがいのある築地小学校」
- 保護者や地域にとって「安心して子どもを預けられ、誇りに思うことができる築地小学校」

【小中合同コミュニティスクール】

- 小中が連携した重点活動を実施し、目指す子どもの姿の実現を図る。
- 学校運営活動についての評価を行い、教育活動の改善を継続する。
- 地域・家庭・学校間の連携をもとに異学年・世代間の交流を図り、社会性を高める。

確かな学力の育成 (知)	心の教育の充実 (徳)	健康な体づくり (体)
思いや考えを伝え合い、 学び合う子ども	かかわり合って、 互いのよさを認め合う子ども	健康に関心をもち、 進んで体を動かす子ども
<<成果目標>>	<<成果目標>>	<<成果目標>>
【学び合い・高め合い】 「授業が分かる」と答える子どもの割合を90%以上にする 【ふるさとを愛する】 「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と答える子どもの割合を75%以上にする。	【自己有用感の涵養】 学校が楽しいといえる子を85%以上にする。 【社会性の育成】 進んであいさつしたり返したりできる子を85%以上にする。	【よりよい生活習慣の定着】 健康な生活(メディア)について考え、行動することができる子の割合を85%以上にする。 【体力の向上】 運動が「楽しい」と答える児童の割合を85%以上にする。
<<具体的な取組>>	<<具体的な取組>>	<<具体的な取組>>
【学び合い・高め合い】 ・主体的な学びを目指した授業づくり ・考えを深めるための「対話」 ・子ども一人一人に応じた個別指導 【ふるさとを愛する】 ・地域の人や仕事、伝統文化と出会い、心に残る多様な学習活動 ・6年間を通して築地地区や胎内市を愛する心を育む活動 ・学校と地域との連携	【自己有用感の涵養】 ・人間関係作りやいじめ防止に関する授業、友達のよさを伝え合う活動 ・全教職員で児童理解に係る研修や情報共有 【社会性の育成】 ・あいさつへの意識を高める取組 ・保育園・中学校、家庭や地域と連携した「あいさつ運動」	【よりよい生活習慣の定着】 ・「松の子チャレンジ週間」で、自己の生活を振り返り、よりよい生活習慣を考える。 【体力の向上】 ・運動強調週間を実施し、具体的な目標を設定して運動に取り組む ・職員研修を充実させ、児童が多様な運動を行えるようにする

グランドデザインには、教育目標、目指す子どもの姿、成果目標や具体的な取組内容を記載しました。学校として取り組むことは多岐に渡りますが、重点的に取り組む内容です。年度の途中と年度末にどの程度達成できているか、報告させていただきます。